

＜波多野澄雄教授基調講演＞レジメ

テーマ：開戦史研究の現段階

はじめに

I. 開戦責任と開戦原因 ー開戦責任者は誰か？

(1) 東京裁判と開戦責任論 ー遠ざかる日中戦争

(2) 開戦にいたる政策決定

(3) 真珠湾謀略説の功罪

II. 多様化する開戦要因研究

(1) 日英戦争としての太平洋戦争 ーイギリスという補助線

(2) Point of no return (引き返し不能点) はどこか？

ー三国同盟、南部仏印進駐、独ソ戦争、日米交渉、ハル・ノート

(3) 開戦の経済的要因

III. 開戦研究の現段階

(1) 日米交渉ー開戦は回避できたか？

(2) 日中戦争の国際化

ー日中戦争はなぜ、どのように国際化し、開戦を導いたか？

(3) 「汎アジア主義」は戦争の原因か？

ー『「大東亜戦争」はなぜ起こったか』をめぐって

おわりに

A. J. P. Taylor, *The Origins of the Second World War*, 1961 (『第二次世界大戦の起源』1977年)

I. 開戦責任と開戦原因 —開戦責任者は誰か？

- ① 联合国軍総司令部民間情報教育局資料提供『太平洋戦争史』1946年
- ② 丸山真男「超国家主義の論理と心理」『世界』1946年5月(同『現代政治の思想と行動』上、1956年)
- ③ 歴史学研究会編『大太平洋戦争史』全5巻、1953—54年
- ④ 服部卓四郎『大東亜戦争全史』全4巻、1953年(再刊1965年)
- ⑤ 日本国際政治学会編『太平洋戦争への道』全7巻、1962—63年
- ⑥ 細谷千博ほか編『日米関係史 開戦に至る十年』全4巻、1972—73年
- ⑦ 防衛研修所戦史室『大本営陸軍部・大東亜戦争開戦経緯』全5巻、1973—1974年
- ⑧ 防衛研修所戦史室『大本営海軍部・大東亜戦争開戦経緯』全2巻、1979年
- ⑨ 細谷千博「日米関係の破局、1939—1941 抑止政策とその破綻」(『一橋論叢』54巻1号、1969年)
- ⑩ 同“Characteristics of the Foreign Policy Decision-Making System in Japan” (*World Politics*, 1974)
- ⑪ Herbert Feis, *The Road to Pearl Harbor*, 1950(ハーバート・ファイス『真珠湾への道』1956年)
- ⑫ Robert J. C. Butow, *Tojo and the Coming of War*, 1961(ロバート・ビューター『東條英機』1961)

- ⑬ George Morgenstern, *Pearl Harbor: The Story of the Secret War*, 1947(ジョージ・モーゲンスターン『真珠湾—日米開戦の真相とルーズベルトの責任—』1999年)
- ⑭ Charles A. Beard, *President Roosevelt and the Coming of the War, 1941*, 1948(チャールズ・ビーアド『ルーズベルトの責任』上下、2012年)
- ⑮ Paul W. Schroeder, *The Axis Alliance and Japanese - American Relations, 1941*, 1958.
- ⑯ 大鷹正次郎『奇襲か謀略か』1954年、同『第二次大戦責任論』1959年
- ⑰ Roberta Wohlstetter, *Pearl Harbor: Warning and Decision*, 1962. (『パールハーバー』1987年)
- ⑱ W. J. Holmes, *Double-Edged Secrets: U. S. Intelligence Operations in the Pacific during World War II*, 1979 (『太平洋戦争暗号戦史』1980年)
- ⑲ F. H. Hinsley, *British Intelligence in the Second World War*, 3vols, 1979—1984.
- ⑳ John Costello, *The Pacific War*, 1981.
- ㉑ Gordon W. Prange, *At Dawn We Slept: The Untold Story of Pearl Harbor*, 1981 (ゴードン・プランゲ『真珠湾は眠っていたか』全3巻、1987年)
- ㉒ John Toland, *Infamy: Pearl Harbor and Its Aftermath*, 1982 (『真珠湾攻撃』1982年)
- ㉓ Hamilton Fish, *Tragic Deception: FDR and America's Involvement in World War II*, 1983(日米・開戦の悲劇』1985年)
- ㉔ R. H. Spector, *Eagle against the Sun*, 1985(ロナルド・スペクター『鷲と太陽』上下、1985年)
- ㉕ Ronald Lewin, *The Other Ultra: Codes, Ciphers and the Defeat of Japan*, 1982. (ロナルド・レウイン『日本の暗号を解読せよ』1988年)
- ㉖ R. B. Stinnett, *Day of Deceit*, 2000(ステイネット『真珠湾の真実ルーズベルトの欺瞞の日々』2001年)
- ㉗ 秦郁彦編『検証・真珠湾の謎と真実』2001年
- ㉘ 須藤真志『真珠湾〈奇襲〉論争』2004年

II. 多様化する開戦要因研究

- ①細谷千博「太平洋戦争とは日英戦争ではなかったか」(1979年、『細谷千博著作選集』2012年収録)
- ②細谷千博編『日英関係史, 1917-1949』1982年
- ③木畑洋一ほか編『日英交流史 2 政治・外交II』2000年
- ④D. C. ワット「戦争回避は可能であったか」(入江昭・有賀貞編『戦間期の日本外交』1984年)
- ⑤Anthony Best, *Britain Japan and Pearl Harbor, Aboiding war in East Asia 1936-41*, 1995.
- ⑥Christopher Thorne, *The Issue of War, States Societies and Far Earstern Conflict, 1941-1945*, 1985(クリストファー・ソーン『太平洋戦争とは何だったのか』1989年)

- ⑦三宅正樹『日独伊三国同盟の研究』1975年, 同『ユーラシア外交史研究』2000年
- ⑧須藤真志『日米開戦外交の研究』1980年
- ⑨野村実『太平洋戦争と日本軍部』1983年
- ⑩塩崎弘明『日英米戦争の岐路』1984年
- ⑪義井博『増補 日独伊三国同盟と日米関係』1987年
- ⑫Rober J. C. Butow, *The John Doe Assciates; Backdoor Diplomacy for Peace, 1941, 1974.*
- ⑬J. G. Utley, *Going to War with Japan 1937-1941*, 1985(アトリー『アメリカの対日戦略』1989年)
- ⑬Waldo Heinrichs, *Threshold of War; FDR and American entry into the Second World War*, 1988.
- ⑭Akira Iriye, *The Origins of the WWII in Asia and the Pacific*, 1987(『太平洋戦争の起源』1991)
- ⑮軍事史学会編『第二次世界大戦(一) 一発生と拡大一』1990年。
- ⑯軍事史学会編『第二次世界大戦(二) 一真珠湾前後一』1991年
- ⑰細谷千博、入江昭、本間長世、波多野編『太平洋戦争』東京大学出版会、1993年
- ⑱軍事史学会編『大本営陸軍部戦争指導班 機密戦争日誌』上・下、1998年
- ⑲森山優『日米開戦の政治過程』1998年
- ⑳荒川憲一『戦時経済体制の構想と展開—日本陸海軍の経済史的な分析』2011年
- ㉑三輪宗弘『日米開戦と石油』2004年

III. 開戦研究の現段階

- ①永井和『日中戦争から世界戦争へ』2007年
- ②C. Thorne, *Allies of a Kind, 1978*(クリストファー・ソーン『米英にとっての太平洋戦争』上下、1995)
- ③小谷賢『日本軍のインテリジェンス』2007年
- ④防衛研究所編『太平洋戦争と連合国の対日戦略(20年度戦争史研究フォーラム報告書)』2008年
- ⑤防衛研究所編『太平洋戦争と枢軸国の戦略(22年度戦争史研究フォーラム報告書)』2010年
- ⑥井口武夫『開戦神話—開戦通告を遅らせたのは誰か』2011年
- ⑦工藤章・田嶋信雄編『日独関係史、1890-1945』全3巻、2008-09年
- ⑧鹿錫俊「日独伊三国同盟をめぐる蒋介石の多角外交」(『年報 日本現代史』16号、2011年)
- ⑨鹿錫俊「世界化する戦争と中国の『国際的解決』戦略」(石田憲編、後掲書)
- ⑩石田憲編『膨張する帝国 拡散する帝国—第二次大戦に向かう日英とアジア』2007年
- ⑪松浦正孝『「大東亜戦争」はなぜ起きたのか—汎アジア主義の政治経済史—』2010年